



平成 25 年 3 月 29 日 第 2 卷(第 48 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F  
災害対策本部 TEL (03)3351-5038  
FAX (03)5366-1058  
mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

## \*\*\* 目次

1. ご報告
2. 現地活動報告
3. 現地感想文
4. 災害対策本部会議・議事録
5. 災害対策本部からのお知らせ
6. 事務所感想文

## \*\*\* 1. ご報告

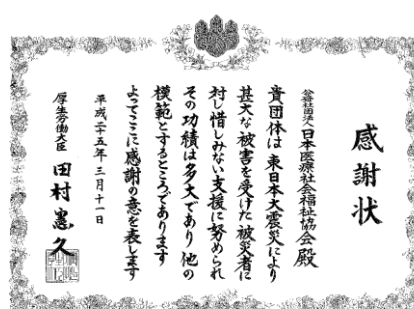
### 【1. 厚生労働省からの感謝状】

2013年3月21日厚生労働省におきまして東日本大震災支援功労者に対する感謝状授与式が開催されました。

当協会からは災害対策副本部長である笹岡真弓業務執行理事が出席いたしました。

高島事務次官より感謝状を授与されましたのでご報告いたします。

全国の医療ソーシャルワーカーの方々のご支援が評価されたことはとてもうれしい事です。これからも引き続きよろしくご支援ください。



## 【2, 臨時総会開催】

3月17日、当協会では、臨時総会を石巻で行いました。

石巻日赤病院にて、石巻市長をはじめ、石巻市立病院院長、石巻日赤病院院長、社協事務局長からのご挨拶がありました。また、災害シンポジウムでは、日本社会事業大学前学長大橋先生をコーディネーターに迎えてシンポジストからのそれぞれの立場からのお話を聞き、また2年間の復興に向けてのご苦勞やご尽力に本当に頭が下がる思いでした。

本題の臨時総会は、無事に執行されました。現地スタッフとしては、100人の会員の皆様が当日出席して下さったことがなによりうれしく感謝の気持ちでいっぱいでした。

そして、群馬県医療ソーシャルワーカー協会から2代目の高崎だるまを頂きました。このだるまには、中井会長、群馬県協会のみなさんからのたくさんのメッセージが書かれており、石巻での活動を見守ってくれると思います。H25年度から、新たな支援活動も始まります。これからも、会員のみなさんからの支援と共にバトンをつないでいきたいと思えます。

(現地スタッフ 富永)



## \*\*\* 2. 現地活動報告

活動期間:2013年 3月7日~3月10日

伊藤 正一 (東京都 (医財)利定会 大久野病院)

中里サポートセンターでの活動は初めてでしたが、継続ケースの方々の記録を読ませていただき、一番強く感じたのは2年が経過してもやはり継続的に支援していかなければいけない方々が存在していること、そしてその多くが、自身に傷病があったり、うつ症状等(震災後症状が表れてきた方も含めて)を呈している、またはそのような方を家族内に抱えているケースが多いということでした。私はRCIが立ち上がって、概ね1年半経過したところで訪れました。その間には様々な問題があったり、支援困難なケースがあったかと思われまます。そしてそれらの支援にあたってきた現地スタッフの方々に敬意を表したいと思ひます。まだ、震災からの復興が完了したわけではありません。支援を継続して必要とする方々も存在しています。今後、協会がどのような形でも継続支援を行っていくこと、そしてそこに私自身も関わりを持っていきたいと思ひます。

### <参加を検討している方へのメッセージ>

震災発生後2年が経過し、復興を感じられるところ、まだまだ復旧段階のところと様々ですが、一度は自分の目でどのような状況で現実が進んでいるのか確認して欲しいと強く感じます。また、被災者の方々はそのステージに応じて(潜在的にも)支援を必要としている方々が多くあります。少しでも多くのソーシャルワーカーが被災地に訪れて支援に当たって欲しいと思ひます。

\*RCI:石巻医療圏 健康・生活復興協議会

活動期間:2013年 3月8日~3月16日

山橋 直子 (徳島県)

2度目のボランティア活動となります。

今回は約10日間、石巻に滞在させていただきました。ボランティア活動としては地域の方の自宅訪問や電話による状況確認を実施しました。また津波被害の大きかった地域の状況把握に回ったり、合同慰霊式やキャンドルナイトに参加させていただいたりとフィールドワークとして地域に出て行かせていただくことも多く、前回の活動時よりも石巻がどういった街だったのかということに触れることができました。

活動の中で、発災より2年経ち、避難所から生活へ移行していくのに伴い、地域間、住民間での生活格差が大きくなっている印象を受けました。それに対し、ソーシャルワーカーや多くの職種が協働し、地域住民を支えていることが分かりました。今後は、この支えをいかに継続していくかということが非常に重要だと考えられます。

最後に、地域住民の方が非常に温かく受け入れてくださったことや食事が美味しかったこと(自然の恵み)など、ただただ石巻に感謝するばかりです。人や土地との繋がりをこれからも大切に、自分ができる支援を継続したいと思います。

<参加を検討している方へのメッセージ>

震災より時間が経過した今、これまで以上に支援の「継続」が重要になります。一人の方の参加で「継続」が連続していきます。迷っている方はどうぞ一度実際に石巻に足を運んでみてください。

活動期間:2013年 3月11日~3月13日

中新地 幸恵(石川県 ときわ病院)

今回初めて参加させていただきました。2年という月日が流れ、現地は復興が進み一見普段の生活を取り戻しているように見える場所と、まだ当時の傷跡が色濃く残る場所にはっきり分かれていて、見ていて複雑な気持ちになりました。

出発前は「自分に何ができるのだろう」という不安はありましたが、現地に入ってケースを一つ一つ見せていただき、これまで参加されてきた皆様の記録を読んでいると「支援を繋げていきたい」という思いが伝わってきて、その思いを受け取り次に繋げる必要があるのだと感じました。

3日間という短い期間での参加で申し訳なく思いつつも、要フォロー世帯を訪問させていただいたり、現地の病院のソーシャルワーカーの方と話す機会があったことは本当に良い経験となりました。現地で感じたことを忘れずにいたいと思いましたし、また参加させていただきたいと思いました。関係者の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。



活動期間:2013年 3月11日~3月13日

中本 富美(石川県 医王病院)

活動日初日は2年前のちょうど3月11日でした。その日は石巻市合同追悼式に参加させていただきました。被災者の方から亡くなられた奥様との日常の出来事や思い出が語られ、その何気ない日常を愛しく感じる今の寂しさが伝わるようでした。

翌日からは在宅避難者の方への電話・訪問相談活動に加わりました。介護、病気、障害から派生する様々な問題は被災後の生活にも大きくのしかかり、ある方は出口の明かりがあると信じられる日もそうでないと感じてしまう日もあると語られた言葉が印象的でした。

最終日、大川小学校に行き、慰霊塔に立つお地蔵さまを見ました。まだ春暖かい日には遠いこの季節にたくさんの方が手を合わせ、お地蔵さまが寒くないようにと毛糸の帽子やマフラーが着せられていました。号泣でした。まだまだ計り知れないこの現実の厳しさや底深さに恐れを抱いています。

いま2年が経過し、人々の状況や気持ちに触れ、人々のつよさや人のつながりがもたらす変化、まだまだ続く苦勞を思い、私には”近づくほどに遠のいていく”感覚があります。しかし石巻の現実を遠ざけることなく、発災時に誓った「私たちにできること」を考え、関わり続けていくこと、行動し続けることの大切さを感じていきたいと思えます。



渡波地区の追悼式

### \*\*\* 3. 現地感想文

\*\*\* 3/12 富永 千晶 (現地担当)

昨日は、追悼式に参列させていただきました。

市長や議員のお言葉よりも、ご遺族代表のことばに胸が詰まる思いでした。とても仲がよかったご夫婦は、午前中に写真館で写真をとり午後にはお茶を飲みながら旅行の計画について話していたそうです。

発災直後は、消防団のご主人が町民の皆さんを誘導していたそうです。奥さんは、足の不自由なご高齢の方を助けて自宅に戻られてからの行方がいまだにわからないとのこと。その方は、ご自分の足に釘が刺さったままであっても探して回られたそうです。今は、その写真館の写真を見ながら仮設での生活とのこと。

後悔と無気力の中過ごしてきた2年間であったそうですが、「妻に誇れる生き方をしよう」と決めてからは前向きに生活を過ごせるようになったと言葉を詰まらせることなく力強く、優しく語られていました。

この方は懸命に、今ある悲しみを乗り越えようとしているのに泣いてはいけなそうと思いきり涙を我慢しました。

きっと、この2年間・・・多くの方がこの苦境を乗り越えていかれたのだと思います。

そして、その悲しみの渦中の方には、私たちのできる支援で乗り越えられる人生を送って頂けたらと心から思いました。

\*\*\* 3/18 久保木 美由紀 (現地担当)

今年の3月は雪も降らず徐々に暖かくなってきています。

大街道の宿舎近くの貞山堀も凍ることがなくなりました。

このまま雪が降らずに穏やかな春を迎えられるといいです。

\*\*\* 3/19 武山ゆかり

昨日は小雨のパラつく中、それぞれに南に西にと全員一人で訪問、どんどん仕事をこなしています。

やはり、街は新しいフェーズに移りつつあることを実感します。

土地の方たちとじっくり話し合う機会もあり、より気を張っての対応が必要です。

これからの支援の形を考えさせられます。

とはいえ、こちらも「春」に近づいています！わかめをたくさんいただきました！

オイシー！！！！

\*\*\* 3/20 武山ゆかり（東京都 豊島区医師会）

昨日は、河南にて、ゆっくりカンファに参加しました。仮設支援員さんがとても「成長」していました。

仮設、孤立支援は、これから、まだ何年もかかりそうだという覚悟も見られました。

仮設掲示板も就労紹介などでにぎやかですが、お茶会などは、入居者が不慣れな、力量無い主催者を接待しているなどの話が聞かれ、複雑な思いです。

協力員さんも地域の連携の空気を感じてくれたと思います。

遊楽館は、連日にぎやかなイベントが！館長さんに鴨川に行って下さったお礼や今回の合唱団公演の広報報告をしてきました。

\*\*\* 3/21 山森道代（東京都 浮間舟渡病院・総合相談所）

初めて活動させて頂きました。2件は「拒否ケース」でしたが、震災後の時間の経過が「拒否」を薄れさせてくれたのか、笑顔でお話を聞かせてくださいました。

今回3ケース訪問と1件電話フォローをさせていただきました。うち3件が移送サービスのニーズがありました。

時間の経過とともにニーズも変化し、ニーズの充足のためのサービスをどう生み出すか今後の課題であると感じました。

これからも継続してお手伝いしていきたいと思います。

（活動期間：平成25年3月18日～20日）

\*\*\* 3/21 武山ゆかり（東京都 豊島区医師会）

暖かな3日間でした。復興協議会のメンバーも次への旅立ちを準備中、ソーシャルワーカーは、それぞれ次のフェーズへの貢献を期待されているようですね。この間の記録も本「石巻の復興 731 日」に濃く詰まっているようです。メンバーの一言ずつの書き込みをもらって帰ります。

（活動期間：平成25年3月18日～20日）

\*\*\* 3/21 筒井 万紀子 (神奈川県 戸塚共立リハビリテーション病院)

久しぶりに石巻での支援活動を行わせて頂きました。  
今回もご自宅へ訪問させて頂き、生活していく中で困っていることのお話を直接伺わせて頂くことが出来ました。

また、仮設住宅におけるケースの検討会議にも参加させて頂き、改めて、震災から2年経っても、震災をきっかけとして崩れてしまった生活を建て直していくことの難しさを痛感しました。日常生活は送れるようになって、一度、断ち切られた人間関係をまた作り直していくことはとても難しいですね。

また、様々な支援者の方々との交流も図れ、とても温かい気持ちとなりました。

ありがとうございました。

(活動期間:平成25年3月17日~20日)

\*\*\* 3/22 富永 千晶 (現地担当)

昨日は、風も強く寒い一日でした。  
東京は、お花見シーズンまっただ中ですね。  
石巻は、まだまだ先です…。

\*\*\* 3/23 富永 千晶 (現地担当)

今日の夜に、遊学館で鴨川少年少女合唱団の公演に行ってみようと思います。

\*\*\* 3/24 富永 千晶 (現地担当)

昨日、遊楽館かなんホールで「鴨川少年少女合唱団」の石巻公演を、協力員たちと3人で聴きに行ってきました。

元気で、優しい歌声に多くの方々が、聴き入っていました。

「しあわせ運べるように」という曲は、神戸の震災時にある小学校の先生が作詞作曲されたそうです。

~亡くなられた方の分まで、前を向いていきましょう…~との歌詞にどの震災も、多くの方が傷つき苦しめたんだらうと想いを馳せました。

ゆずの「栄光の架橋」を聴き、周りのみなさんは涙をながされていました。

「ふるさと」でも…。

忘れられない故郷と、そして前を向きながら生活することを、少年たちに教えてもらったなあと思います。



\*\*\*3/25 藤橋 隼（茨城県 介護老人保健施設ひだまり倶楽部）

前任者の経過と方針を紙面やWeb上で確認し共通認識を深め、自分で実際に訪問、面接し、そこに自分の方針をさらに絡め後任者に引き継ぎ支援を繋げていくソーシャルワーカーのバトン。初め不安に思った慣れない地でのソーシャルワークですが、普段と変わらないコンディションで行うことができました。驚いています。茨城県内での被災者支援の経験もそれを支えてくれました。バトンは生きています。

3日間という短い期間で、1日に訪問できるのも3件ほどですが、この点と点を全国のソーシャルワーカーで繋いで被災地を支えていくことの意義を感じました。また、何より3日間現地スタッフの方には、お世話になりっぱなしでした。お世話になりました。  
(活動期間：平成25年3月22日～24日)

## \*\*\*4. 第13回災害対策本部会議 議事録

**実施日** 2013年3月1日(金)19:00～

**出席** 佐原・笹岡・武山・久保木・飯島・東・佐藤・依光・金子 (敬省略・順不同)

**欠席** 梅崎・富永・篠原・山田・坪田

### 1. 災害対策本部 事業全体について

#### (1) 財政面(事務局からの提示)

- ・災害支援活動についての経理に関するお願い
- ・臨時総会向け<災害シンポジウムプログラム>の提示  
(2題とも別紙あり)

## (2) 人事

### ●職員

- 【現地】 久保木美由紀：現地責任者  
富永千晶：社会福祉協議会からコミュニティ・ソーシャルワーカーのコーディネータ・アドバイザーへの就任要請あり。  
畑中良子：虐待防止センターに3.5日勤務(残りは協会活動)
- 【事務所】 依光則子  
金子小夜子

### ●協力員

- 【現地】
- ・今期(2012年度)の募集概要
  - ・1日あたり上限2~3名
  - ・期間は原則として移動を含まず中3日以上(特に初回参加者は3日以上)
  - ・来期(2013年度)の募集概要について追加修正する事項はあるか?  
→現行通り
- ・ホームページ・活動支援要項の活動時間の記載について  
現地の現在の実活動時間は原則として、8時30分~17時30分としているので  
協力員に郵送するオリエンテーション資料には8時30分~17時30分と記述した。  
活動時間を8時30分~17時30分に修正、更新する。
- ・大阪協会より、2013年度も大阪から月2名の派遣計画あり。  
今年度と同様に継続して受け入れを行う。
- ・支援活動参加者からの意見を参考に  
「現地での感想文」→「ひとこと」感想にする(事務所と同様のフォーマット)  
活動報告書は従来通り作成してもらおう。

【事務所】 月~金 10時~17時

### ●本部メンバーの現地入り予定

3月3日 RCI サンキューパーティーへの参加予定者  
佐原会長、笹岡副本部長、久保木、富永、依光

3月16日~17日 理事会/臨時総会への参加予定者  
シンポジウムへの参加者:シンポジストは別表参照(事務局長提出)  
宮城クリニック 宮城先生(活動の映像 パワーポイント)

### (3) 2013 年度の活動内容について

#### ●活動内容・活動形態

##### ①石巻現地の実施報告書について

石巻現地の実施報告書参照(別紙 1 月報告)

在宅被災者支援の RCI 関連

地区別カンファ → 引き継ぎ目的で開催。3 月にカンファレンス終了予定。

高齢者サポート → 整理してから委託される予定。

・継続ケース 105 件(2 月末)

・石巻市保健師からの依頼

引きこもりの親への支援(グループ)について対象者が集まらなくとも計画を立て支援の要望あり。

来年度、仮設への支援にソーシャルワーカーに介入してとの要望あり。

##### ②新たな活動内容・活動形態について

現行の個別支援(RCIとの協働)については、協会の活動として継続していく。

グループ支援については RCI との協働の方向を検討する。

#### ●活動場所

C 棟の利用可能の可否?

4 月 1 日から C 棟の利用が可能となることが決定。

C 棟の下見および清掃業者を入れる必要があれば検討する。

#### ●記録データ保管について

2013 年度からの扱いかは未定。

現段階では未定。富士通と情報班で話合中。

### (4) 年報の作成について

冨永が作成を担当。一冊とし、総会で配布できることを目標とする。

ページ数は 5~6 ページ。

総会で配布するため 1000 部印刷予定。

### (5) 現地災害時の安否連絡体制について

緊急時の連絡方法を検討。緊急時用としてスマートフォン設定か?

災害伝言ダイヤル「171」利用について

災害発生時「171」ダイヤルにて連絡

手順及び連絡体制は災害対策本部石巻発行の別紙参照

(6) 来年度の組織体制について

名称を「災害対策本部」→「災害対策委員会」に改名  
災害対策委員と社会活動部担当の理事とで構成し、委員長は笹岡が担当する。

2. 事務所支援活動

(1) 協力員マニュアルの配布について

3月の活動参加に応募された協力員へ公文書とともに郵送している。  
石巻の提示内容に変更予定  
平成25年度は初回参加の協力員を対象として配布する。

(2) 災害支援ニュース発行についての要望

現在毎週発行しているが、隔週発行とする。  
3月1日から実施する。

(3) 「医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」について

2月の打ち合わせ

7日(木)19時～	参加:佐藤杏、東、依光
17日(日)15時～	参加:佐原、武山、佐藤杏、東、依光
26日(火)14時～	出版社との打ち合わせ 参加:東、依光

対象取扱期間 : 2011年10月～2012年12月までとする。  
印刷部数 : 1000部で決定。

次回打ち合わせ : 3月22日(金)19時～予定  
参加予定:佐原、武山、山田、佐藤杏、東、依光

(敬称略・順不同)

(4) 「医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ」販売について

書籍販売:『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』  
※(2013年2月末現在)在庫 1975冊 (販売 675冊・寄贈 362冊)  
※Amazonへのアップについては検討中。  
※ISBNの取得について → 取得確定。



(5) 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」販売あり

※Amazon へのアップについては完成後検討予定。

※ISBN の取得について → 取得確定。バトンⅡの出版時に印刷可能

(6) 大阪大会での自主企画について

申請済。3～6 グループでのワールドカフェ方式。

5月18日(最終日)の午後に予定。

発表者は2名で検討中。

(7) 大阪大会では宣伝活動の為、災害支援活動のポスターを掲示を行う

ポスター作製は事務所にて行う。

(8) 臨時総会のシンポジウム

シンポジストから原稿が未到着。3/4 に事務所から一斉メールにて確認を行う。

シンポジウムの受付は理事で行う。

総会の臨席願い

市長、石巻市立病院、石巻赤十字病院は参加。

石巻社協は返事待ち。

参加される方々には挨拶をもらう。

### 3. 現地支援活動

●月報・市報告書(資料参照)

「1月」

### 4. 次回予定

●次回の災害対策本部会議日程

4月19日(金)19時～ (協会 会議室において)

●2013年度石巻現地活動予定(ホームページに掲載済み)

石巻現地事務所	募集休止期間	4月1日 から 4月14日 まで
	活動休止期間	4月30日 から 5月6日 まで

## \*\*\* 5. 災害対策本部からのお知らせ

### 【1. 協力員募集】

#### \*\*\* 現 地

平成 25 年度 4 月～5 月の募集変更をお知らせ致します。

- 1). 4 月 1 日～4 月 14 日は協力員さんの活動休止期間となっております。  
この期間の活動への参加のご応募は受付致しません。  
4 月 15 日以降は従来通りご応募を受付致します。  
1 日あたり上限 2～3 名で募集。  
中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、  
災害対策本部までお気軽にご相談ください。  
\*\*\* 初回参加の方は活動日数を 3 日以上でご参加お願い致します。

- 2). 4 月 30 日～5 月 6 日を活動休止期間とします。  
この期間の活動への参加のご応募は受付致しません。

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。  
ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

#### \*\*\* 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1～2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

### 【2. 災害対策本部会議】

- 3 月 1 日(金)に実施いたしました。「3. 議事録」をご参照ください。  
2013 年度は名称を災害対策委員会とします。  
4 月 19 日(金) 19:00～ 協会事務所にて開催します。

### 【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン I』の販売を行っています。

発災から平成 23 年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。※ご注文は注文用紙で承ります。



\*\*\* 注文用紙はホームページからダウンロードできます。

[http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

●現在『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン II』を発行準備中

### 【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

\*\*\* URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

### 【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



\*\*\* URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

## \*\*\* 6. 事務所感想文

\*\*\* 3/25 依光 則子(災害対策本部事務所)

今週一杯で本協会での勤務が終了します。人生でも特別な一年、大変貴重な機会を頂いて、皆様には公私共にお世話になり、心から感謝いたします。実は拝命中の「バトンII」編集は4月の入校期限を前に、まだ道半ば。しばしボランティアでお手伝いの予定です。この後も被災地に寄り添い、支援のあり方を考えていければと思っています。

\*\*\* 3/25 金子 小夜子 (災害対策本部事務所)

3月11日が過ぎて、もう2013年度が始まります。災害対策本部は災害対策委員会として再出発し、現地での新たな支援も開始されます。その支援の役に立てれば幸いです。

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成25年3月29日 第2巻48号  
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦ね(利根)は坂東一の川

(群馬県前橋市)